

入稿条件

PHOTO MAT COATING フォトマットコーティング



↑
仕上がり線(見え寸)
塗り足し部分:仕上がり線+1cm

ご入稿条件

保存形式	イラストレーターCS1~CC(.ai)で保存
サイズ	原寸サイズ
画像解像度	100dpi以上
色	イラストレーターにてRGBカラー指定 ※黒は全色100%
確認用データ	PDFデータ又はJPGデータを添付



入稿データの外側1cmはマットになった際に切り落とされゴム縁に置きかわる塗り足し部分になります。必要なオブジェクトやロゴは**仕上がり線**の内側に配置されるよう調整をお願い致します。

背景色が白の場合は背景を白で着色してください。

製作過程において微小なズレや歪みが生じる可能性があります。

JET PRINT MAT / JET PRINT MAT Plus ジェットプリントマット / ジェットプリントマットPlus



ご入稿条件

aiファイル(ベクターデータ)イラストレーターCS1以上
すべてのデータはアウトライン化してください

その他.jpgファイル(解像度300dpi程度)、psdデータ等でのご入稿も可能ですが、別途デザイン料金を頂戴する場合があります。



文字やオブジェクトは絨毯部分の内側30mm以内に収まるよう調整をお願い致します。
(背景の柄などは端から端まで入れていただくことが可能です。)

サイズ加工について

お客様のご注文にあわせて、ご希望のサイズ・形状で加工いたします。

	フォトマットコーティング	ジェットプリントマット (日本製)	ジェットプリントマット (タイ製)	デジタルプリントマット (value)	デジタルプリントマット	ジェットプリントコイル アウトドア	スタンダードマットS
最大幅	130	148(縁1cm) 145(縁なし)	178(縁1cm) 175(縁なし)	400	200	120	178(縁1cm) 175(縁なし)
最長	400	350	400	2000	400	240	2000
最小 サイズ	—	—	—	30×30	30×30	—	—

(cm)

定期的なお手入れ

パイルのあるマットは表面に掃除機をかけていただき、マットが掻き取ったゴミや土砂を取り除いてください。マットをひっくり返して裏地側から棒のようなものでゴミや土砂をたたき出していただくと、効果的にお手入れをすることができます。

ゴミ・土砂を取り除いた後、汚れの目立つ場所を水洗いしてください。中性洗剤をご使用いただけますが、十分にすすいでください。なお、漂白剤並びにアルカリ洗剤は色落ち等の原因になりますのでご使用を避けてください。洗った後は陰干しし、十分に乾燥させてください。

マットの下に水分が流れ込んだ際は、水分の除去(拭き取り)をお願いします。転倒及び床面変色の予防となります。

PHOTO MAT COATING のお手入れ

- 汚れた場合は柔らかい布等で水拭きし汚れを除去した後、陰干しで十分乾かしてからご使用ください。
- 中性洗剤を使用する場合は、表面に洗剤が残ると滑る原因となりますので、しっかりと水ですすいで陰干しで十分乾かしてからご使用ください。
- 保管する場合は折らないようにしてください。平のままか、ゆるく丸めて保管してください。
- 洗濯機、ポリッシャーでの洗浄は避けください。

お取り扱い上の注意事項等

- マットの機能を十分に発揮させるために日頃のメンテナンスをお勧めします。
- 化学薬品や強い作用を持つ洗剤・溶剤等により変退色、変質を招く可能性があります。
- 直射日光の当たる屋外・濡れた場所でのご使用は避けください。屋内でご使用ください。
- 現品見本や写真見本と製品の色が若干異なる場合がありますのでご了承ください。
- 掲載写真の一部に合成写真を含みます。
- 長時間直射日光が当たる場所では、変退色する可能性があります。
- ご注文の際は色見本帳にてお色目をご確認ください。
- 表示価格は標準価格であり、消費税は含まれておりません。
- 当カタログは2017年2月現在のもので、製品仕様は予告なしに変更することがあります。
- サイズに関しまして、材料や生産工程の諸事情により完成サイズに対して±2%以内(中国製は±3%以内)の誤差は許容範囲とさせていただきます。
- デジタルプリントマットに関しましては、製造工程上若干ゆがみが生じる場合があります。
- フォトマットコーティングのデザインに枠(ライン)が入る場合、製造工程上デザインに若干ゆがみが生じる場合があります。